

いじめ防止へ大人の力

子どもを取り巻く暴力防止を啓発する盛岡市のCAP岩手(高橋寿美子代表)は31日午前10時から、花巻市花城町のまなび学園で無料学習会を開く。子どもが自分の力で暴力やいじめから身を守る手法や、その力を引き出す大人の支援を伝える教育プログラムの一部を学ぶ。本県では、2年連続でいじめ自殺問題が発生しており、同団体は子どもも大人も人権意識を再認識する機会を提供したいと活動に力を入れている。

盛岡のCAP岩手

CAPは「Child Assault Prevention」(子どもへの暴力防止)の略で、米国で開発された教育プログラムがあり、学習会は大人向けの一部を学ぶ。例えば児童の学校生活を切り取った劇。下校中にA君が「俺のかばんを持てよ」とB君に強制しようとすると、安心して生活する△自分に自信を持つ△子ども主体で選択する自由△の三つも大切な権利として掲げた。B君の『安心、自信、自由』を奪った。嫌な目に遭つた。

子どもの支え方啓発 花巻で31日 学校、PTA参加を

ら『嫌』と言つ権利もある。大人はそれを教えてほしい」と説く。暴力は子どもを不安にさせ、自己肯定感も低下させることを、大人も子ども気付いてほしい」と強調。「CAPプログラムは学校での実施は少なく、学校の先生もPTAにこそ知つてほしい」と活用を呼び掛ける。託児無料。9月13日午後10時からは滝沢市のふるさと交流館でも開く。問い合わせ高橋代表は「自己肯定感を高めれば自分を大切に



児童による嫌がらせをテーマにした劇を通じ、人権意識の重要性を発信するCAP岩手のメンバー

190・1132)

190・1132)